



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎(026)236-2531

<http://www.chubu-forest.go.jp/>

広報

# 中部の森林



関局長と植樹を行う、軽井沢町立中部小学校の児童

## 平成16年度 中部森林管理局 「森林を育てる集い」を開催

平成16年度 中部森林管理局「森林を育てる集い」が、6月1日、長野県軽井沢町長倉山国有林で開催され、一般公募者をはじめ、軽井沢町立中部小学校の児童らが参加して、ミズナラ、オオヤマザクラ等の植樹を行いました。(関連記事2ページ)

# 野鳥や動物たちが生息する、多様な森林づくり



小雨の中、広葉樹の植樹を行う参加者

## 平成十六年度 もり 森林を育てる集い

六月一日、植樹等を通じて森林・林業の大切さ、尊さを感じ、自らの手で後世に残る森林づくり等を推進することを目的に、平成十六年度中部森林管理局「森林を育てる集い」が、軽井沢町の協賛を得て、長倉山国有林において開催されました。

朝からあいにくの小雨模様となりましたが、集いには一般公募者をはじめ、軽井沢町立中部小学校の児童ら約二百五十人が参加しました。

開会式では、関局長から「本日、ご参加いただいた皆さんと一緒に森林を育てる取組みなどを行うことにより、中部地方全体の森林が立派に育ってくれることを願っています。」と挨拶、続いて軽井沢町長より「ここ軽井沢には、年間を通じて多くの観光客が訪れており、今後とも環境整備とこの素晴らしい自然のPRに努めて参りたい。」との挨拶が述べられました。

この後、中部小学校の児童による歌及び作文の発表が披露され、関局長より小学校へ記念樹

(コブシ、ドウダンツツジ)が、また森田林野弘済会長野支部長から書籍(森と木の質問箱)が贈呈されました。

またこの日、分収造林事業協力者として、東御市長(代理桜井産業建設部長)と山口久幸氏(北相木村)の二名に感謝状が贈呈されました。

引き続き、場所を植樹会場に移し、花や紅葉が美しく、野鳥が繁殖できる実のなる木として「ミズナラ、オオヤマザクラ、ミズギ、マユミ」の苗木、計一千本



森林整備で間伐作業に取組む参加者

を管理局、東信署職員の指導により参加者全員で植樹しました。昼食後、一般の参加者からは近接するカラマツ人工林において、間伐作業に取組み、ノコギリを使って、小径木の伐採に汗を流しました。

このほか小学生らは、千ヶ滝までの散策路において、管理局職員がインストラクターを務める森林教室を行いました。

式典の中で、軽井沢町立中部小学校を代表して、二名の児童に作文を発表していただきましたので紹介します。

### 「森林を切ってはいけない」

五年一組 藤巻 壮史

森林は、私たち人間が生きるための力をくれるそんごいです。森林は、さんそを出し人間がそのさんそをすつて生きているのです。

森林の中に入るととてもおちついた気分になります。そして動物のなき声を聞いたり見たりすると楽しくなって、森林があつてよかつたなあと思います。

でも人間は、その森林を切つ



局職員の森のはなしに耳を傾ける児童

たりゴミのほいすてをしたり、さん性雨でよごしたりと森林をどんだんかれさせたり殺したりして森林がなくなってしまう心配があります。

だから人間が木をむやみに切りすぎたりすると森林が日本や世界からもなくなってしまうそうです。

人間や動物は、さんそがないと生きてはいけません。だから人間は、森林を始めとする自然を大切にしなければいけないなあと思っています。

### 「植物を見て思うこと」

五年二組 野沢 恵理花

私は植物が好きです。  
学校の花だんには、今、赤や黄

色やピンクのチューリップの花が咲いています。このチューリップは4年生のときに、私たちが球根を植えたチューリップです。きれいに咲いてくれてとてもうれしいです。

わたしは、3年生のときに軽井沢にひっこしてきました。

東京にはあまり木や花がありませんでした。

でも、今わたしがすんでいるところには、木がいっぱいあります。花も咲いています。みどりののはっぱがたくさんついた木は、見ていると、とてもきれいです。気持ちもいいです。

今日、わたしが植える木も、大きくそだって、みどりの葉のきれいな木になったらいいなあと思います。

木はなかなか大きくならないけど、わたしが大人になったら、きょう植えた木を見に来たいと思います。

### 各県で植樹祭が開催

#### ふるさと森づくり

#### 県民の集いに参加

五月二十九日、長野県、中部森林管理局など八団体が主催す



広葉樹の森づくりに励む参加者

る、第五十五回長野県植樹祭が飯山市池ノ平で「よみがえれぼくらのふるさと きれいな森」をテーマに開催され、林業関係者、みどりの少年団、森林ボランティア団体、一般参加者など約千五百人が参加しました。

植樹に先立ち式典が行われ、田中知事、木内飯山市長、関局長、長野県議会議長が挨拶し、森林の大切さ、緑豊かな環境づくりへの県民の取組みを呼びかけました。

植樹では、グループに分かれ旧飯山国際スキー場の跡地に、広葉樹の森づくりとして、コナラ、ヤマグリ、クヌギの苗計五千本を県や市町村の担当者から指導を受けながら植樹を行いました。

参加者は、将来の広葉樹の森をイメージして、一本一本思いを込めながら植樹に励んでいました。

この他、岐阜県では、去る四月二十九日、美濃加茂市平成記念公園「日本昭和村」で梶原知事、山崎名古屋事務所長や県内の林業関係者、一般市民が参加して、第三十五回「岐阜県みどりの祭り」が開催されました。

富山県では、五月二十八日、「とやま森の祭典」と題して利賀村において開催（4ヶ参照）されました。

また、愛知県でも、五月二十九日、江南市において「愛知県植樹祭」が開催されています。

### 木曾山林・上伊那農業高校に

#### 「森林の市」から感謝状

「指導普及課」五月二十二・二十三日の両日、第二十一回森林の市（林野庁・森林の市実行委員会主催）が、東京都立代々木公園が開催されました。

中部森林管理局もブースを出展し、関局長らが参加する中、モツ君づくりやパネル等の展示で、中部地方の国有林のPRを行いました。

一方、森林の市に長年にわたるブース出展し、森林・林業の発展に貢献したとして、五月二十二日、辻国有林野部長から木曾山林高校と上伊那農業高等学校に感謝状が贈呈されました。

木曾山林高校は、第十四回から毎年出展し今回が八回目。また、上伊那農業高校は、第十五回から毎年出展し今回が七回目となっています。

木曾山林高校は生徒が作った木工品、キノコ、炭、苗木等を販売した他、パネル展示などを行い、上伊那農業は生徒活動のパネル展示、河川環境調査研究のパネル発表、学校の紹介、炭・花等の即売、小枝の鉛筆づくり体験等を行い、にぎわいを見せていました。



にぎわいを見せる学生のブース

# 森林づくりイベントを開催

## 「とやま森の祭典」が開催

「富山署」五月二十八日、利賀村で「とやま森の祭典」が開催され、県内の花とみどりの少年団員や、農林水産関係者、飛騨地域林業関係者ら約二千人が参加し、村木のトチノキを、会場の「利賀ふるさと森林」内に記念植樹を行いました。

式典には、林野庁長官代理として山崎次長（名古屋事務所長）と富山森林管理署長が出席し、産業経済功労者や緑化功労者の表彰等が行われ、少年団による合唱や村林業指導員・村林業後継者らが緑の誓いを述べました。

富山森林管理署からはクラフトコーナーを設け、丸



富山署ではクラフトコーナーを設置

太の輪切り版、松かさ、ドンゲリ等によりブローチ、ペンダント等を制作しました。

当日は花とみどりの少年団の他にも、一般参加の児童がたくさん参加しており、子供達の独創的なアイデアで職員も欲しくなるような作品がたくさん出来上がり、帰りのバスが出るまで、大勢の児童達が楽しんでいました。

## 『再び緑あふれる森林に』

### 地元小学校児童らと

### 植樹祭を実施

「中信署」五月二十八日、大町市の鹿島山国有林において、地すべりで荒廃した山を再び緑あふれる森林に再生する目的で植樹祭を実施しました。当日は絶対の植樹祭日となり、大町北小学校三年一組の児童三十一名はじめ地元関係者等総勢約百名で、ケヤマハンノキ、ミズナラ、ヤマザクラやヒノキの苗木計七百五十本を植えました。

今回の場所は、治山工事で復旧した箇所でもあり、ケヤマハンノキの植栽や木の育ちにくい場所の植樹用に開発されたバイオブロック紙型枠ポット「商品

名..カミネツコン」を一部に使用するなど、植栽木の活着や生育に配慮する中で行いました。

児童たちには、カミネツコンの組み立て、カミネツコンへのぬれた新聞紙の敷き詰め、培養土入れ、ミズナラ等の苗木の植え込みまでの植樹作業を体験していただきました。

全員が、カミネツコンを使った植樹を楽しみながら、苗木が無事成長するよう一本一本丁寧に植えていました。



カネミツコンを使い植樹する児童

## 二十二世紀の御柱に

### 願いを込め協議会が植樹祭

「南信署」「建て御柱」の祭りの熱気が冷めやらぬ五月十六日、東俣国有林において下諏訪町の「御柱の森づくり協議会」モミの

モミの大苗にシカ対策を施すメンバー



大苗にシカ対策を施すメンバーによる「二十二世紀の御柱を育てる植樹祭」が開催され、南信署からも署長、流域管理調整官、下諏訪森林官等が参加しました。

当日は、協議会メンバーらおよそ七〇名が雨の降りしきる中、御柱の伐採跡地やモミの木街道付近などに七〇本のモミの大苗（二五〇〜二〇〇センチ）を植え、周囲にシカ防護網を設置しました。この苗木は、「御柱用材を育む会」の先輩が、山引き苗から一〇年近くかけて大切に育ててきたもので、今後、協議会により、つる切りなどの手入れを行うこととしていきます。

年配の参加者は、「私の生きていくうちには何ともならんが、二〇〇年後には御柱に使ってもらえるだろう。」と二十二世紀の御柱に思いをはせ、雨の中で黙々と植えていました。

## 未来世紀へつなぐ緑のバトン」

### 第四回植樹祭を開催

「木曽署」長野県西部地震の災害跡地に、木曽川上下流住民が力を合わせて緑を甦らそうと、平成十三年から始まった「未来世紀へつなぐ緑のバトン」第四回植樹祭を五月二十九・三十日の両日、王滝村柳ヶ瀬地区において開催し、木曽川下流域の団体、一般家族ら約五百名が参加しました。

二十九日の開会式では王滝村長より主催者挨拶、谷口森林管理局長より歓迎の言葉の後、愛知県刈谷市のかりがね緑の少年団と王滝村緑の少年団による記念植樹を行いました開会式後の植樹作業では二杉の区域に、家庭で育てたどんぐり（ミズナラ）など約千五百本の苗木を植樹しました。



下流域から上流域へ「緑のバトン」リレー

# 遊々の森

「探究の森」の協定を締結

「南信署」五月二十六日、長野県富士見町西岳国有林において、南信森林管理署長と茅野高等学校長による、遊々の森「探究の森」の協定の締結が行われました。

茅野高校は、県内では高校教育に体験学習を取り入れることをいち早く検討してきた学校で、本年度「総合的な学習」の一環として「探究する」をテーマに総合教養（森作り体験・農業体験・考古学演習・博物館演習）を設定しています。



協定書に調印する川村署長（左）と渋谷校長（右）



職員の指導でカラマツの間伐を体験

この内「森作り体験」のコースでは、体験活動のフィールドとして、八・一九杉の国有林提供の希望が出され、また、名称を「探究の森」とすることとし、今回の協定締結となったところ

です。協定締結式では、関局長と、渋谷校長の挨拶が行われた後、川村署長と渋谷校長による協定書の調印が行われました。

その後、生徒たちが一ヶ月前より製作してきた標柱の設置を行い、グループに分かれて初めての体験である間伐作業に取り組みました。

今後は、主として間伐を計画しており、他に測量、測樹、ベンチ製作、自然観察等の幅広い活動を計画しています。

## トピックス

### 赤沢自然休養林で「森林セラピー」の現地検討会

五月二十六日、赤沢自然休養林において、森林セラピー研究会（林野庁、厚生労働省、民間企業と医師などの有識者らで構成）による、現地検討会が開催され、研究会のメンバーをはじめ、信州大学の加藤助教や学生ら十五名が参加しました。

林野庁からは、平野研究普及課長らが、また中部局からも畑計画部長、花見木曾署長ほか、関係職員が参加しました。赤沢自然休養林は、森林浴発祥の地であり、木曾ヒノキの美林をはじめとする美しい森林や、園内を流れる清流、森林鉄道やバリアフリーの歩道等も整備され、森林の持つ「癒しの効果」を十分に満喫できることから、今回の現地検討会の場所として選定がされました。

当日は、森林鉄道に乗り、終点の丸山渡に到着。昼食を取り、学術研究路において、鷹野ふれあいセンター所長の説明により、千本立や奥千本の木曾ヒノキの美林を見学しました。

木曾ヒノキの美林の中では、木漏れ日が射し込み、樹木が散する「フイトンチッド」による心地よい安らぎが感じられ、森林セラピーにおいて、効果が

あることを実感しました。この後、檜峠、樺窪を経て、駒鳥コースに入り、御神木伐採跡地で検討会を行いました。

メンバーからは、「本日のコースでは森林浴の効果が十分感じられた」「森林の中では五感が良くなり、活気が上がる」「清流が近くにあることで効果も高まる」などの意見が出され、今後の研究に期待を寄せながらそれぞれが帰路につきました。



鷹野所長による木曾ヒノキの説明（千本立）

### 「森林療法（森林セラピー）」とは、

森林の地形や自然を利用した医療、リハビリテーション、カウンセリングなどをさし、森林浴、森林レクリエーションを通じた健康回復・維持・増進活動です。

現代のストレス社会において、森林浴や木材による刺激がもたらす生理的リラックス効果に国民の関心や期待が高まっています。「森林浴」に代表されるように、森林のもつ「癒し効果」を活かし、健康増進やリハビリテーションに役立てる「森林療法（森林セラピー）」が注目されるようになってきました。しかし、森林の快適性増進効果や療法効果については、医学的な説明が現状では不十分であり、客観的かつ科学的な分析に基づく効果の評価と療法メニューの確立が求められています。

森林セラピー研究会では、産学官連携によって、健康増進に向けた森林の活用、森林療法にかかる医学的な課題の解明、国民への普及等を図っていくことと研究を行っています。

# 各地のたより

## ボランティアリーダーズ スクールを開催

「名古屋事務所」五月十五日、  
連合愛知第二期ボランティアリ  
ーダースクールが開催されま  
した。

これは、連合愛知が愛知万博  
への取り組みとして、ボランテ  
ィア活動のリーダーを育成する  
ための講座を開講しているもの  
で、環境・福祉・災害などのふ  
れあいボランティア活動を、毎  
月一回全八回にわたり実施する  
こととしているものです。



間伐の実施方法を説明する名古屋事務所職員

今回は、第二期五回目「食と  
緑と水を守るために」というテ  
ーマで、午前中はボランティア  
団体を招き、森林づくりについ  
ての講義を受け、午後は名古屋  
事務所職員による、山の作業の  
講義と林業体験として、下刈り  
及び間伐体験を行いました。

参加者は、職員から下刈鎌の  
使い方や、間伐の実施方法等説  
明を受けた後実際に体験し、慣  
れない作業に戸惑いながらも真  
剣に取り組み、山仕事の大変さ  
大切さを肌で感じていました。

作業終了後は、「もし間伐をし  
なかつたらどうなるのか？」と  
いうグループ討議・発表が行わ  
れ、森林の重要性が理解された  
ことと思います。

今回は、十月十六日に同テー  
マで第三期の講座が予定されて  
います。

## 「木曽ロータリークラブ 一万本の森」植樹を実施

「木曽署」木曽ロータリーク  
ラブでは、森林環境の保全と地  
域社会への貢献を目的に昨年三  
月十日に森林管理局との間で  
三・六二ヘクタールの分取造林  
契約を締結していましたが、こ



植樹祭の式典で記念撮影

の程、五月十六日にクラブ創立  
三十五周年記念事業として植樹  
作業を小川入国有林で実施しま  
した。

当日は関森林管理局長、花見  
木曾署長のほか約四十名が出席  
しブナの苗木約六十本を植え付  
けました。

また、植樹終了後には赤沢自  
然休養林内の森林交流センター  
で記念式典を行い、この中で局  
長より「森林浴発祥の地で記念  
事業が執り行われることは大変  
意義深く、また、八十年という  
長い年月となりますが、豊かな  
森づくりとともに、貴クラブの  
更なるご発展を祈念申し上げます。」との挨拶がありました。

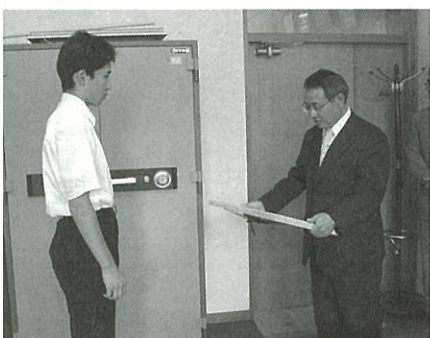
この後、出席者らは森林鉄道

への乗車や「ふれあいの道」を  
散策するなど、新緑の休養林で  
森林浴を満喫していました。

木曽ロータリークラブでは昨  
年十月よりカモシカ食害防止の  
防護柵の設置や地ごしらえの準  
備作業を進め、今回の植樹事業  
と併せ、五月中を目途にヒノキ、  
ブナ、オオヤマザクラ、ヤマゲ  
リの苗木約一万本の植栽を行っ  
ています。

## 馬瀬中学校に学校分取造 林事業の感謝状を贈呈

「岐阜署」国有林の分取造林  
事業に協力した者に対する感謝  
状の贈呈について、今回、岐阜  
森林管理署管内で旧馬瀬村と契  
約している学校分取造林の活動  
に対し局長感謝状を贈呈するこ



加藤署長から生徒会長の野村君に感謝状が贈呈

となり、六月十六日、当署か  
ら加藤署長をはじめ大竹馬瀬萩  
原森林官らが、また下呂市役所、  
馬瀬振興事務所、今井馬瀬中学  
校々長外、十名が出席する中、  
生徒会長の野村惇貴君に、加藤  
岐阜署長から中部森林管理局長  
の感謝状が手渡されました。

なお、学校分取造林は、岐阜  
県下呂市馬瀬中切にある「馬瀬  
中学校」と昭和五十八年に設定  
したもので、現在までの二十年  
間、毎年中学校三年生の生徒を  
中心に下刈り、枝打ち、間伐等  
の森林整備が行われています。

## 林業技術コンテストで「日本林 業技術協会理事長賞」を受賞

「愛知事務所」五月二十四日、  
東京都千代田区において日本林  
業技術協会主催の「第五十回林  
業技術コンテスト」が行われ、  
全国から選出された十七組が、  
それぞれの技術研究の取り組み  
や成果を発表しました。

愛知事務所からは田中真二さ  
んが参加し、「境界不明標解消へ  
の取り組み」と題して、トラン  
シットコンパスを利用した境界  
不明標の発見・解消方法につい  
ての発表を行いました。

### ◆森林ふれあいイベント情報◆

- 森林ふれあい講座  
第4回 イベント  
(森林とのふれあい(ネーチャーゲーム))  
7月31日:丸根山園地(募集人員50名)
- 第5回 イベント  
(自然観察会と木工クラフト)  
8月22日:響の森(募集人員20名)  
(問合先:名古屋事務所:052-683-9211)

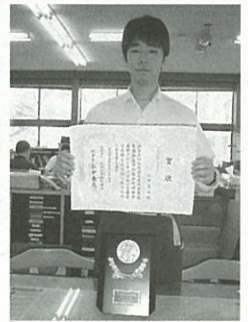
### ◇各署等のイベント情報(共催含)◇

- 富山署**  
○シティフォレスター事業:6月22日
- 北信署**  
○ガールスカウトの森・森林整備:7月3日  
○森太郎外・夏の往診:7月4日  
○里山再生ボランティア:7月10、11日
- 南信署**  
○森林教室:6月22日(多摩市聖ヶ丘小)  
24日( // 西落合小)  
7月1日( // 諏訪小)  
6日( // 竜ヶ峰小)  
13日( // 多摩第二小)
- 南木曾支署**  
○森林教室:7月2日(大桑小)
- 愛知所**  
○森林教室:6月30日(豊川市豊川小)  
7月7日( // 天王小)  
22日(豊川市平尾小)  
23日( // 桜木小)

「名古屋事務所」第三八回林業関係広報コンクール(「社」全国

### 「広報なごや」が優秀賞受賞

審査員席からは「非常に良い取り組みであり、ぜひ現場へ普及させていってほしい」との感想が出され、翌日の表彰においては見事に「日本林業技術協会理事長賞」を受賞しました。



受賞した田中さん



優秀賞の表彰を受ける

林業改良普及協会主催)の表彰式が五月二十六日、石垣記念ホールにて行われました。広報誌部門(国有林の部)において、旧名古屋分局発行の「広報なごや」が全国林業改良普及協会長賞(優秀賞)を受賞し、また、ホームページ部門へ行政

初めての大会となりましたが、新たな中部森林管理局として

戦が繰り広げられました。十四名が参加し、碁盤を前に熱

### OBからの投稿 管内囲碁大会を開催

第三十六回管内囲碁大会が五月二十二日、中部森林管理局別館で開催され、OBを主体に三十四名が参加し、碁盤を前に熱戦が繰り広げられました。初めての大会となりましたが、新たな中部森林管理局として

今後とも、幅広い多くの方の参加をお待ちしています。成績は次のとおり

- Aブロツク  
優勝 三浦八雄五段(OB)  
準優勝 加藤 裕四段(OB)  
Bブロツク  
優勝 中島喜男三段(OB)  
準優勝 三石文彦二段(OB)  
Cブロツク  
優勝 関 義一二段(OB)  
準優勝 唐澤芳草二段(OB)

### 会議行事等予定

- 平成十六年度永年勤続職員表彰式  
6月24日  
メルパルク長野(長野市)
- 国有林野観光施設協議会総会  
6月29日  
ウエルシティ長野(長野市)
- 森林計画現地研修会  
6月29日  
中信署管内
- 安全週間  
7月1~7日  
管理局・各署等
- 高山植物等保護管理協議会  
7月7日  
管理局
- 板取川治山事業起工式  
7月12日

### 研修予定

- 中央研修(森林技術総合研修所)  
▽業務研修 森林施業技術  
6月28日~7月2日  
松井 邦彦(計画課)  
佐々木伸也(名古屋事務所)
- ▽森林・林業技術研修  
森林・林業教育Ⅱ研修  
7月5日~7月14日  
中熊 靖(ふれあいセンター)  
新木 昭一(名古屋事務所)
- ▽業務研修(研修所他)  
局研修(研修所他)  
(エクセルⅠ)  
7月13日~7月15日  
局署等のパソコン使用者



熱戦が繰り広げられた囲碁大会

岐阜県板取町

各地で森林環境教育等を開催

瀬戸国有林で体験学習  
品野台・東明小学校

「名古屋事務所」瀬戸国有林野内の野外活動センターにおいて、瀬戸市の二校の小学校が、野外学習のプログラムの中で自然とのふれあいを学びました。



二人組で間伐材の輪切りに挑戦！

五月二十一日は、品野台小学校の五・六年生六十名がクラフト教室を体験し、名古屋事務所職員の指導により、松ぼっくり、間伐材を輪切りにした物や小枝等を使い、思い思いの作品を作りました。自然の中から職員たちが集め、下準備をした材料を中心に、レリーフや置物等

を作成するので、一つ一つが個性的で自然の暖かさを感じる作品が完成しました。

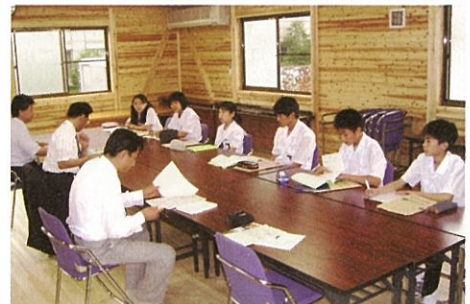
生徒たちは自分で作った作品を「部屋に飾ります！」と大切に持ち帰りました。

また、六月一日には、東明小学校の四年生二十六名が森林とのふれあいを体験し、「森林からの贈り物」と題した紙芝居で森林の大切さを学んだ後丸太切りに挑戦しました。

「生活・生命に関わる環境問題」で学習―新川中学校生が来所―

「名古屋事務所」六月二日、愛知県西春日井郡新川（しんかわ）町立新川中学校二年生六名が、総合的な学習の時間の一環で、当事務所を訪れ森林について学習されました。

訪れた生徒達が行っている学校のある新川町は、森林率ゼロだと森林が身近な町ではありませんが、生徒達は、「生活・生命に関わる環境問題」「森林破壊」をテーマに、学習しているグループでした。森林と地球温暖化の係に非常に興味を示し「森林の減少により二酸化炭素の吸収量はどの



名古屋事務所職員の話に聞入る生徒達

くらい減少しますか」「森林が減少しているのは知っていますか、十年前と比べるとどのくらい減少していますか」など活発に質問されました。担当した職員も一つ一つ丁寧に解りやすく答えていました。

上伊那農業高校が  
国有林で植樹実習

「南信署」快晴に恵まれた五月二十五日、横川国有林で、長野県上伊那農業高等学校の緑地工学科一年生四〇名と「みどり塾」のメンバー四名がヒノキ、ケヤキ等約一五〇〇本の植樹体験をしました。

この植樹実習は、同校が実習の場所を探していることを知り、

国有林をフィールドとして提供したものです。また、自然環境やみどりを中心に学んでいる「みどり塾」からも植樹体験の希望があったことから、世代を超えて交流を図り、有意義な実習となるよう、合同での植樹となったものです。



晴天の下、植樹を行う上伊那農高生



五感を使っでの森林散策

当署に要請があり実施しているもので、付知北及び南小学校の児童六十七名が訪れました。

教室では、パネルを使った森林の働きの説明や職員手作りのフィールドビンゴ等で座学をした後、四班に分かれしでのき遊歩道沿いで五感を使っでの森林散策を行いました。

高樽の滝を見ながら昼食を取った後、丸太切りを行いました。児童達は自分で切った木に自由に絵などを描くペンダント作りを体験した後、帰路につきました。

後日届けられた感想文には、「森林を大切にします」等の感想もあり、森林教室を通じて、森林の大切さを実感してもらったことができたと思います。

森林の大切さを学んだ  
森林教室

「東濃署」五月二十四日・二十五日の両日加子母裏木曾国有林で森林教室を実施しました。

この教室は、付知町の小学五年生が体験学習「森林と私たちの暮らし」の一環として、毎年